防衛装備庁 技術シンポジウム 2024

安全保障×イノベーション

開催日 令和6年 11/12 火 ▼ 13 水

特別講演

防衛装備庁ホームページにて公開！

防衛装備庁からの発表

防衛装備庁ホームページにて公開！

多数予定！

入場無料

開催方法
ハイブリッド開催
対面、オンライン同時開催

会場　ホテルグランドヒル市ヶ谷

アクセス
JR中央・総武線：
「市ヶ谷駅」徒歩3分

都営新宿線：
「市ヶ谷駅」4番出口より徒歩3分

東京メトロ有楽町線・
東京メトロ南北線：
「市ヶ谷駅」7番出口より徒歩3分

事前登録制	https://www.atla-symposium2024.go.jp/

※ご来場には事前登録が必要です。

オーラルセッション　場所:「瑠璃の間」 １２日（火）　１１：００～１７：００			
時　間	演　題	発　表　者	
11:00	開会あいさつ（ビデオメッセージ）	防衛大臣	中谷　元
11:05	防衛装備庁の取組みについて	防衛装備庁　長官	石川　武
11:15	防衛イノベーション科学技術研究所の創設 ～日本版ＤＡＲＰＡ（？）の目指すところ～	防衛装備庁　技術戦略部長	松本　恭典
11:45	新世代装備研究所の取り組み	新世代装備研究所　所長	鈴木　茂
休憩　（12:05～13:00）			
13:00	**特別講演** **「生成AIの最新動向と防衛分野における可能性」**	東京大学　教授	松尾　豊　様
13:30	**特別講演** **「サイバーフィジカルセキュリティを支える先端技術と課題」**	国立研究開発法人 産業技術総合研究所　フェロー	松本　勉　様
休憩　（１０分間）			
14:10	**特別講演** **「経済安全保障重要技術育成プログラムの現状と課題」**	東京大学　名誉教授 外務大臣科学技術顧問	松本　洋一郎　様
14:40	哨戒ヘリコプターＳＨ－６０Ｌの開発	防衛装備庁　長官官房 装備開発官（航空装備担当）付 第２開発室長 １等海佐	中尾　親史
15:00	無人機へのＡＩ搭載技術の研究試作	防衛装備庁　長官官房 装備開発官（航空装備担当）付 第１開発室長 １等陸佐	池田　通隆
休憩　（１０分間）			
15:30	群目標への対処のための協調型誘導システムの確立に向けた挑戦	防衛装備庁　航空装備研究所 誘導技術研究部 誘導制御研究室 防衛技官	宮西　智也
15:50	生成ＡＩが切り開く次世代自動運転技術	Turing株式会社	青木　俊介　様

（桃色・水色の枠）特別講演及び研究開発の成果に関する発表では、質疑応答の時間を設ける予定です。

オーラルセッション　場所:「瑠璃の間」 １３日（水）　１０：３０～１７：００			
時　間	演　題	発　表　者	
10:30	**特別講演** **「「安全保障」の視点から科学技術イノベーション政策を考え直す～次期基本計画を見据えて～」**	総合科学技術・イノベーション会議 議員	上山　隆大　様
11:00	航空装備研究所における極超音速誘導弾研究開発の現在	防衛装備庁　航空装備研究所 誘導技術研究部 誘導システム研究室 防衛技官	森　亮太
11:20	誘導弾用弾頭技術の新たな可能性 ～高威力・軽量・高精度～	防衛装備庁　陸上装備研究所 弾道技術研究部 管制・自動化研究室 防衛技官	浦田　康平
11:40	海洋の可視化実現への取り組み	防衛装備庁　艦艇装備研究所 海洋戦技術研究部 海洋戦闘指揮研究室 防衛技官	岡田 祐治
休憩　（12:00～13:00）			
13:00	**特別講演** **「量子情報技術の魅力と現状」**	東京大学　教授	小芦　雅斗　様
13:30	高出力レーザによるドローン対処の実現に向けて ～車両搭載高出力レーザ実証装置・電気駆動型高出力レーザシステムの研究試作～	防衛装備庁　長官官房 装備開発官（陸上装備担当）付 第４開発室 １等陸尉 防衛装備庁　新世代装備研究所 電子対処研究部 電子戦統合研究室 防衛技官	中島　光夫 佐藤　豪洋
13:50	高出力エネルギー兵器の搭載を見据えた艦艇電源システムの研究	防衛装備庁　長官官房 艦船設計官付動力システム設計室 ３等海佐	橋本　裕志
休憩　（１０分間）			
14:20	レールガン　進化する電源技術 ～民生技術の導入で目指せパルスパワーイノベーション～	防衛装備庁　陸上装備研究所 弾道技術研究部 火力・防護力評価研究室 防衛技官	田原 芳基
14:40	認知状態推定技術を利用した複数無人機の制御について	防衛装備庁　新世代装備研究所 ＡＩ・サイバーネットワーク研究部 指揮統制システム研究室 防衛技官	荒毛　将史
15:00	計器情報と視覚情報に基づく熟練者ノウハウの学習による航空機操縦支援	三菱重工業株式会社	筈井 祐介　様
15:20	閉会あいさつ	防衛装備庁防衛技監	堀江　和宏

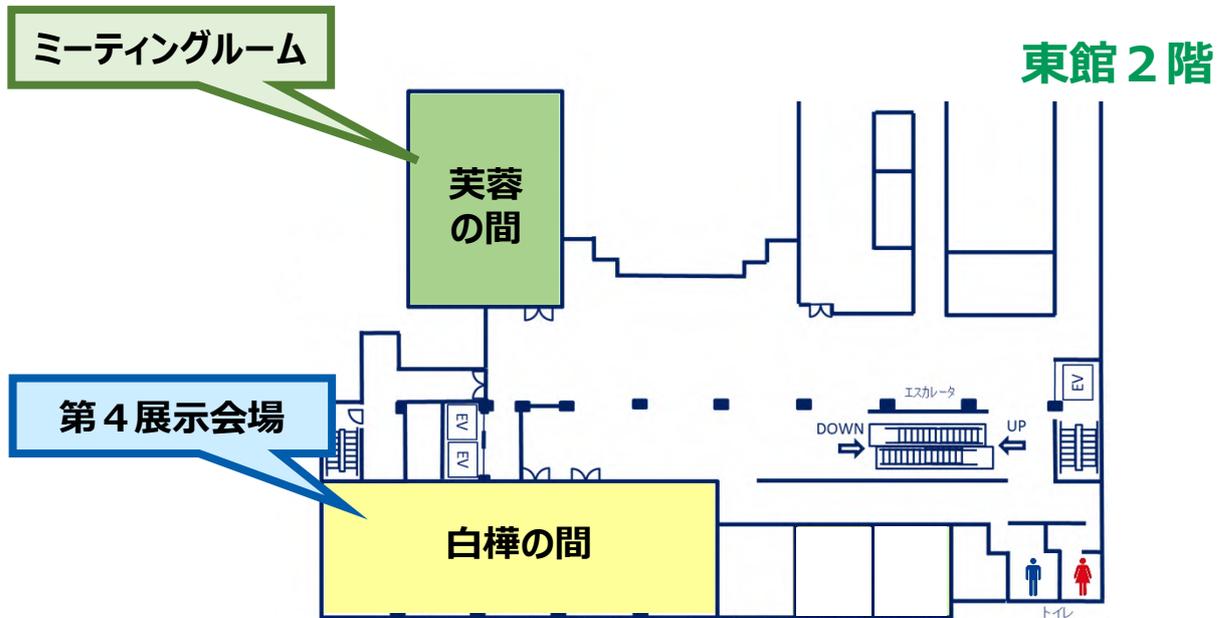
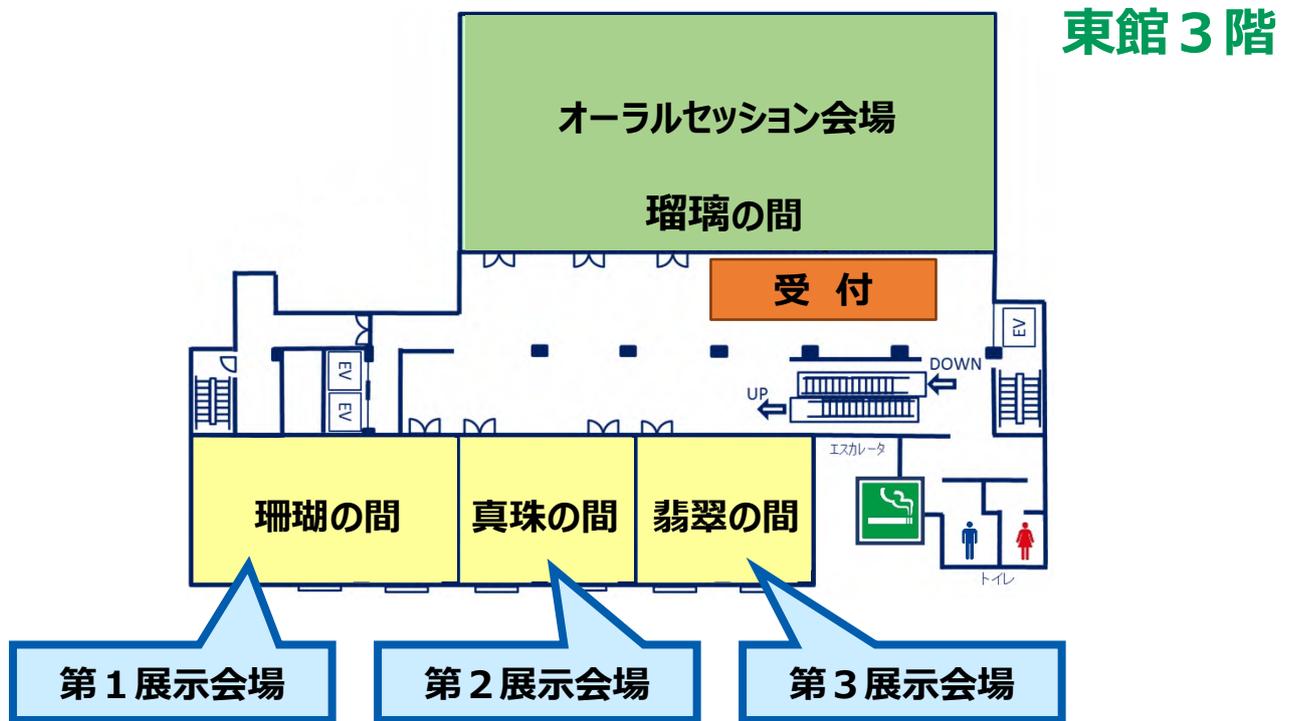
特別講演及び研究開発の成果に関する発表では、質疑応答の時間を設ける予定です。

展示一覧　場所:「珊瑚の間」「真珠の間」「翡翠の間」「白樺の間」
１１月１２日（火）及び１３日（水）　０９：３０～１７：００

会場	番号	展　示　件　名	展　示　者
第１展示会場「珊瑚の間」	P-1	陸装研紹介ビデオ	陸上装備研究所
	P-2	大電力発電能力と機動力を両立させる小型高出力ハイブリッド電機駆動車両システム	
	P-3	ＵＧＶ技術の研究	
	P-4	武力紛争の人道化に向けた遠隔操作ロボット用統合状況把握システムの開発	防衛大学校
	P-5	他機関と研究協力を活用した水陸両用車の機動力向上のための取り組み	陸上装備研究所
	P-6	将来橋梁の衝撃特性に関する研究（被弾衝撃印加試験）	
	P-7	極超音速レールガンの電源小型化を目指して～パルスパワー技術を大募集～	
	P-8	弾薬の安全性向上について	
	P-9	ＥＭＰシステム化技術の研究	
	P-10	誘導弾用弾薬技術の新たな可能性～高威力・軽量・高精度～	
第２展示会場「真珠の間」	P-11	海洋の可視化実現への取り組み	艦艇装備研究所
	P-12	潜水艦コンセプト評価装置について	
	P-13	潜水艦用高効率電力貯蔵・供給システムの研究	
	P-14	ドローン（マルチコプター）を使った上空からの磁気計測	
	P-15	大型UUV研究の進展～水中からの挑戦～	
	P-16	研究用多用途小型ROVの制作	
	P-17	水上艦の艦尾付加物に関する取り組みについて	
	P-18	艦艇用磁気ギアードモーターに関する研究	装備開発官（艦船装備担当）
第３展示会場「翡翠の間」	P-19	電磁波セキュリティ対策用機材	ローデ・シュワルツ・ジャパン株式会社
	P-20	航空機搭載SARの画像自動類識別と学習データの共用化	新世代装備研究所
	P-21	ソフトウェア耐タンパー技術の研究	
	P-22	無人機搭載用光波センサ技術	
	P-23	無人回転翼機搭載レーダコンセプト	
	P-24	車両搭載高出力レーザ実証装置の研究試作	装備開発官（陸上装備担当）
	P-25	高出力レーザシステムの研究成果	新世代装備研究所
	P-26	ドローン対処の切り札～ＨＰＭ技術の早期装備化へ向けて～	

展示一覧　場所:「珊瑚の間」「真珠の間」「翡翠の間」「白樺の間」
１１月１２日（火）及び１３日（水）　０９：３０～１７：００

会場	番号	展　示　件　名	展　示　者
第４展示会場「白樺の間」	P-27	ＨＧＶに対処するための新たな誘導弾システム	航空装備研究所
	P-28	戦闘機用エンジンシステムに関する研究の成果について	航空装備研究所
	P-29	航空戦闘へのＡＩの適用を目指して	航空装備研究所
	P-30	航空機の被雷低減に向けた被雷予測技術の開発	三菱重工業株式会社
	P-31	宇宙安全保障における不審物体監視システムと防衛の基礎研究	防衛大学校
	P-32	防衛大学校グローバルセキュリティセンターでの安全保障関連研究	防衛大学校
	P-33	安全保障技術研究推進制度	技術戦略部技術振興官
	P-34	メタ認知の脳情報基盤解明と日常トレーニング環境の構築	国際電気通信基礎技術研究所
	P-35	レーザー反射光を利用する海中海底ハイブリットセンシングの研究	海洋研究開発機構
	P-36	ジャイアント・マイクロフォトニクスによる高出力極限固体レーザ	国立研究開発法人理化学研究所
	P-37	超小型ロバストテラヘルツ波イメージング装置の研究開発	国立研究開発法人理化学研究所
	P-38	電子戦評価施設	装備開発官（航空装備担当）
	P-39	Ｃ－２の全機疲労強度試験	装備開発官（航空装備担当）
	P-40	島嶼防衛用新対艦誘導弾の要素技術の研究	装備開発官（統合装備担当）
	P-41	高速・高機動目標に対する航跡管理技術の研究	航空装備研究所
	P-42	将来無人機を支える大電力発電の実現	航空装備研究所
2階ロビー	P-43	防衛装備庁における研究職の業務内容について	人事官
	P-44	情報本部電波部について	情報本部

＊会場マップ＊

※詳細な配置等は会場にてご確認ください

～～ご来場に際してのお願い～～

本日はご来場いただき、誠にありがとうございます。本シンポジウムをより有意義なものとするため、ご来場の皆様方には以下の点にご留意いただくとともに、円滑な運営にご協力下さいますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

○入場の際は、受付において、事前登録サイトからお送りしたメールを御提示の上、名刺（1枚）をご提供ください。
○お忘れの方は、当日受付において受付簿に必要事項を記入の際、身分証のご提示をお願いいたします。
○受付開始は両日とも９時３０分です。他の施設利用者の迷惑にならないよう、受付開始時間前のご来場はご遠慮ください。
○ロビーなど、ホテルグランドヒル市ヶ谷の共用スペースを含む全ての会場内において、他の利用者に迷惑のかかる行為や運営の妨げとなる行為（本シンポジウムの内容と直接関係のない事項に関する質問、誹謗中傷、暴行等）はご遠慮ください。
○講演中の私語や音を立てる行為はご遠慮ください。
○講演会場内では、アラーム付の時計、携帯電話等、音の出る機器については電源を切るか音が鳴らないようマナーモードに設定して下さい。
○講演会場内では、主催者側から事前の許可を得ている場合を除き、写真撮影、ビデオ（動画）撮影、録音等は禁止します。講演会場内で不正に撮影された写真等をインターネット(X等)にアップロードすることは禁止します。
○展示会場では、特に禁止表示のない展示物、ポスター等の写真撮影は可能ですが、来場者、説明者の肖像権に十分なご配慮をお願いします。また、ビデオ（動画）撮影、録音や通行の妨げになるような大型機材、三脚、自撮り棒等の使用及び撮影データの商用利用はご遠慮ください。（報道機関による取材等で事前に許可を得た場合を除く。）
○展示品や会場の備品に損傷を与える行為（傷をつける、テープを貼る等）はご遠慮ください。
○会場への危険物（凶器、発火性のあるもの、爆発物、異臭のするもの等）の持ち込みはご遠慮ください。
○会場への小型無人飛行機（ラジコン無線機、ドローン等）の持ち込み及び飛行等はご遠慮ください。
○指定場所以外への立ち入りはご遠慮ください。
○指定場所以外での喫煙、会場内での飲食はご遠慮ください。
○次のいずれかに該当する方の入場はお断りいたします。
・凶器その他危険物を所持している方
・酒気を帯びていると認められる方
・ビラ、横断幕、プラカード、旗、鉢巻、のぼり、たすき、腕章、ゼッケン等掲示物の類を持ち示威的行為を行う又は行う恐れのある方
・シンポジウムの運営を妨害したり、他人に迷惑を及ぼす等の会議場の秩序を乱すと認められる方
・その他、司会及び係員の指示に従えない方
○会場の混雑状況により、入場者数を制限することがあります。
○司会及び係員の指示に従っていただけない場合はご退出いただき、以降の再入場をお断りする場合があります。
○会場スタッフから手荷物確認をお願いさせていただく場合がございます。ご理解、ご協力をお願いいたします。

お問合せ先
〒162-8870
東京都新宿区市谷本村町5-1
防衛装備庁技術戦略部技術戦略課技術情報室　技術シンポジウム担当
TEL　03-3268-3111　（内線26440）